

カブシキガイシャ グロウ ス
株式会社Growth

〒033-0041 三沢市大町2-2-10

Tel&FAX : 0176-52-6317

HP アドレス : <http://aomori-growth.com/>

代 表 者 : 代表取締役 須藤 勝利

創 業 : 平成23年4月

従 業 員 : 7名 (うち障害者1名)

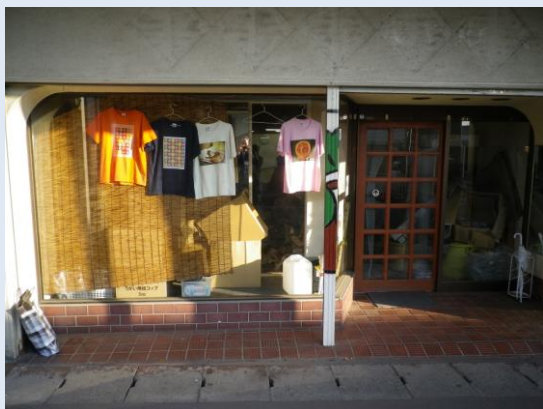
本事業で雇用した障害者数 : 1名

事業内容 : 青森県産ごぼうを使用したごぼう茶の製造・販売

障害者の業務内容 : ごぼう茶の製造に係る業務全般



事業所紹介



(店舗正面)

株式会社 Growth は三沢市の大町商店街に製造工場兼事務所を構え、ごぼう茶の製造・販売を行っています。オシャレな T シャツが看板代わり。一見アパレル店かのような佇まいですが、店舗に近づくにつれごぼうの香ばしい香りが漂ってきます。事業所の代表は、製品の原料や製造過程へこだわりを持ち、また、地域社会の活性化を願う代表取締役の須藤さん。本事業により雇用した障害者の勤務状況などについてのお話をうかがって参りました。

Q 障害者を雇したきっかけ、理由は？

須藤さん 私たちの世代は就職氷河期と言われ、働きたくても働けないことのつらさを体験しました。そしてこの事業を始める前から、報道やいろいろな方と接している中で、働きたくても雇用の場がない障害者の方がたくさんいらっしゃるということを知りました。自分の体験したつらさと相まって、「そういう方々の働く場を作り出したい」と思い雇用を考えました。障害があるためにできないことがあるとしてもそれはしょうがない。でも、できることができればいい、そのできることを仕事としていただきたいと私は思っています。

また、障害を持つことにより自分自身に自信を持たない障害者の方がいらっしゃる聞き



(須藤代表取締役：写真中央)

ます。しかし、雇用の場を得ることにより社会との繋がりを深め、そして働くことで社会への貢献をすることにより、自分に自信を持っていただけるのではないかと考えたことも理由の一つです。

Q では創業当初から障害者の雇用も考えていたのですか？

須藤さん はい、そうです。弊社は平成23年4月からの創業ですが、地域社会の活性化を考え、工場は商店街の空き店舗にしようと思いました。その中でも今の工場は、高低差がある所でも段差がなくスロープになっています。障害者を雇用することも考えていたのでそれが今の工場を決める要因の一つとなりました。



(スロープ写真)

Q 今回雇用された障害者の五日市さんの仕事振りなどはいかがでしょう？

須藤さん 製品製造に係る工程の全てを任せられるほど、非常に重要な戦力となっています。また、積極的に周りの従業員に話しかけたり、よく話を聞いたり、職場の雰囲気や和ませたりしてくれる点も非常に大きいです。障害者を雇用することはもっと大変なものだと思っていましたが、もはやいないと困る大事な人材です。

Q 障害者を雇用する上で心がけている部分や受けた支援を教えてください。

須藤さん 五日市さんは市内にある障害者就労トライアルセンターボイスの利用者で、当初はそこから実習という形で来ていただいていた。実習は1日2時間でしたが、ボイスからは実習時間の前後にメンタルヘルスケアなどを行っていただきました。他には障害の特性について教えていただき、「できること」、「できないこと」についての説明を受けました。



(障害者就労トライアルセンターボイス)

また、心がけている点としては、「できるであろうことができなかつた時」に間を空けてみたり、長い目で見ることにより、障害者自身にできることを「できない」と思わせないことです。

Q 事業の近況はいかがですか。

須藤さん 弊社は生産量日本一を誇り、安全安心な青森県産ごぼうを原料100%としています。また、独自の製法により焙煎するなど、お客様においしく飲んでいただくための工夫を行なっています。おかげ様で、県の内外、大口小口を問わずご注文やお問い合わせをいただき、さらにリピーター様からのご注文もいただいています。売り上げも年度当初の計画を上回るほどで、これからも雇用の維持をしていきたいと考えています。



(製品パッケージ)

※今年のごぼうの当たり年で、おいしいごぼうがたくさん収穫されているそうです。(株) Growth は大きさ、形の規格外品を主に使用していますが、ごぼうのおいしさは規格品と変わりません。須藤さんは今年のごぼう茶の出来に、非常に期待していました。

Q 最後に障害者雇用に対してのご意見をお願いします。

須藤さん 県内の事業主の皆様で障害者の雇用をお考えの方は、まず実習を受け入れてみてはいかがでしょうかと思います。実際の現場で一生懸命に働く障害者の方をご覧になることは、雇用する側としても得られるもの、感じられるものが多いと思います。



ここからは (株) Growth で働いている五日市さんにお話をうかがってきたいと思います。

お名前：五日市 孝徳

障害種別：下肢障害、聴覚障害

勤務日数：月20日

勤務時間：9時～16時（うち休憩1時間）

通勤方法：自らの運転で自家用車使用



(商品開発部 製造担当：五日市 孝徳さん)

Q 五日市さんの業務内容を教えてください。

五日市さん ごぼうのささがき（カット）、乾燥、焙煎、製品のパック詰めなどです。

Q 仕事についての感想などをお願いします。

五日市さん 自分の手で作った商品が全国に広まっていくのがとても嬉しいです。

Q 仕事をしていく上で気を付けていることはありますか？

五日市さん 怪我をしないことと体調管理に気を付けています。仕事に穴を空けないようにしています。



(ごぼうをカットする五日市さん)

Q 休日はどのように過ごされていますか？

五日市さん ドライブなどを行っています。たまに遠出することもあります。



担当後記

今回、五日市さんとお話をして驚いたことが多々ありました。まずお名前をうかがったときに名刺をいただいたことです。五日市さんは8月からの雇用で、お邪魔したときは3ヶ月ほどしか経っていないときでした。また、お写真を撮らせていただくときに自分でネームプレートがよく見えるように直したこと、そして仕事について述べられた感想のこと。これらのことは率直に、「自分はこの会社の一員であり、そのことに誇りを持っている」というように感じました。また、会社側も五日市さんを大切な従業員と思い、とても大切にしていることも同時に感じました。

(株) Growth はできたばかりの企業で、製造行程など改善・改良を重ねる日々だそうです。五日市さんも含め Growth という企業名のとおり、みんなで成長していこうというエネルギーを感じました。

※五日市さんは10月から事業所の HP でのブログにも参加しています。興味のある方は是非ご覧ください。<<http://aomori-growth.com/blog/>>